

入院に必要な物品

入院申込書
母子手帳
診察券
下着類
(必要時)ナプキン 適宜
バスタオル2枚
タオル 2~3枚
スリッパ
お風呂用具一式
イヤホン(テレビ用)
箸・スプーン・湯飲み等
ティッシュペーパー 1箱
洗面用具一式

入院の日は入院される方へ(1階 4番窓口)にお寄りになり、朝9時までにA4病棟においでください。

注意事項: 入院期間中自家用車は当院駐車場に置いておくことはできません。

患者様自身が自家用車を運転しての入院はおやめ下さい。

この用紙(クリニカルパス 妊娠高血圧症候群)は入院診療計画書を兼ねています。

入院時忘れずにご持参下さい。

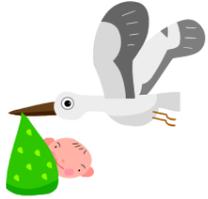
病名: 妊娠 週

妊娠高血圧症候群



主治医氏名 _____ 印

指示受け看護師 _____

	入院日	入院期間	退院日
説明 指導	<p>入院時 ・主治医が入院・処置について説明します。 (夜間・休日入院の場合は病棟の医師が説明し、後日主治医が改めて説明を行います。)</p> <p>・看護師が入院生活について説明します。</p> 		<p>・主治医より次回受診日などについて説明があります。</p> <p>・看護師が退院後の生活や注意点について説明します。</p>
診察 処置	<p>・検温を行い、血圧の変動を観察します。 ・赤ちゃんの心音とお腹の張りを観察するために、1日1回以上お腹に分娩監視装置をつけます。特に医師の指示がなければ、朝・午後・夜にドップラーで赤ちゃんの心音を聞きます。</p> <p>・安静にしているにもかかわらず血圧が安定しない時は、血圧を下げる内服薬や点滴を行う場合があります。</p>  	<p>・定期的に超音波検査(エコー)を行い、赤ちゃんの体重が増えているかチェックします。</p> <p>・看護師が毎日体重を聞きに伺います。体重計は処置室にありますので、毎朝10時頃に計測してください。</p> <p>・必要に応じて尿検査や血液検査を行い、身体の状態を見ます。</p> 	<p>・退院日までに退院診察を行い、血圧が安定していれば退院となります。</p> 
動静	<p>血圧を安定させる為に安静が必要になります。トイレ・洗面以外はなるべくベッドで休みましょう。面会もできるだけ短時間で済ませて下さい。血圧が安定しない場合には、医師の指示により面会謝絶となる場合があります。面会謝絶の場合には、音や光の刺激も安静の妨げになりますので、テレビや電気は消して下さい。</p> <p>医師の許可があればシャワーに入れます。シャワーの日は月曜・水曜・金曜で、午後からとなります。</p>		
食事	<p>塩分制限食(妊娠腎食)になります。お食事後は、ロビーに出された下膳車へ下膳してください。食事療法となりますので、病院食以外の物は食べないようにして下さい。</p>		
排泄	<p>トイレ</p>		

退院指導

- ・急に活動すると血圧が上がってしまいますので、安静にしながら少しずつ家事などを始めて体を慣らしていきましょう。
- ・頭痛がする、急にむくみが強くなったなどの場合は横になって休むようにしましょう。それでも症状が改善されないときは予約日以外でも受診して下さい。
- ・次回受診日には必ずおいで下さい。



注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等進めて行くに従って変わり得るものです。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

患者氏名 _____ 印 家族等氏名 _____ 印 (患者との続柄: _____)

済生会新潟第二病院 産婦人科
代 025-233-6161
妊娠高血圧症候群 05.4